



2021年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月14日

上場会社名 株式会社 リンガーハット
 コード番号 8200 URL <https://www.ringerhut.co.jp>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 佐々野 諸延

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小田 昌広

TEL 03-5745-8611

四半期報告書提出予定日 2021年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	25,494	27.7	4,235		4,445		7,323	
2020年2月期第3四半期	35,257	0.6	1,201	23.2	1,159	22.8	424	6.7

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 7,403百万円 (%) 2020年2月期第3四半期 268百万円 (18.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	294.19	
2020年2月期第3四半期	17.04	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	31,998	10,948	34.2	439.02
2020年2月期	33,717	18,471	54.7	741.29

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 10,929百万円 2020年2月期 18,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		5.00		5.00	10.00
2021年2月期		0.00			
2021年2月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年2月期の期末配当につきましては「未定」とさせていただきます。

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,400	29.4	5,600		5,700		8,700		349.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当予想は今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては大きく変動する可能性があります。今後、開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響を開示させていただきます。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期3Q	26,067,972 株	2020年2月期	26,067,972 株
期末自己株式数	2021年2月期3Q	1,172,017 株	2020年2月期	1,175,988 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期3Q	24,894,637 株	2020年2月期3Q	24,889,027 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に記載されている予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- (2) 本資料のサマリー情報、[添付書類] 2ページ「経営成績に関する説明」及び11ページ「セグメント情報」に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による影響で急速に景気が悪化しました。

外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた休業要請や外出自粛による来店客数の激減などもあり各社大幅に売上が減少し、先行きの見通せない非常に厳しい経営環境が続いております。

当社グループでも新型コロナウイルス感染症対策として、従業員のマスク着用、アルコール消毒液の店内設置、客席へのパーティション設置など、徹底的な感染予防対策を実施いたしております。

このような状況の中で、当社は食の「安全・安心・健康」向上に継続して取り組んでまいりました。また、『全員参加で、更なる成長を目指そう』をスローガンに、強固な企業体質づくりとともに、企業価値向上に努めてまいりました。

コロナ禍の施策としては、お客様の消費スタイルの変化に伴いテイクアウトやデリバリー販売を強化するため、テイクアウト用商品を充実し、スマートフォンによる事前決済システムを新規導入いたしました。また、ショッピングセンター内フードコート店舗にも出前代行サービスの対応可能店舗を拡大いたしました。

出退店につきましては、国内では14店舗を出店し67店舗を退店、海外では1店舗を出店し5店舗を退店いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間末の当社グループ合計の店舗数は、国内745店舗、海外13店舗の計758店舗（うち直営店舗544店舗、フランチャイズ店舗214店舗）となりました。

既存店の売上高につきましては、緊急事態宣言期間を中心に、店舗の臨時休業や営業期間の短縮を余儀なくされ、当社グループ全店舗計で、当第3四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は70.6%となりました。また、特別損失として営業店舗の減損損失18億2百万円を計上しました。さらに、繰延税金資産の回収可能性の見直し等により、法人税等調整額13億74百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は254億94百万円（前年同期比27.7%減）、営業損失は42億35百万円（前年同期営業利益12億1百万円）、経常損失は44億45百万円（前年同期経常利益11億59百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は73億23百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益4億24百万円）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

(長崎ちゃんぽん事業)

「長崎ちゃんぽんリンガーハット」では、2020年10月より創業祭期間限定メニュー第1弾として「とくちゃんぽん背脂とんこつ醤油」、同年11月より秋冬の季節商品として播磨灘産の大粒のかきを使用した「かきちゃんぽん」を販売開始いたしました。また、同年10月に従来の麺よりのびにくいテイクアウト専用麺を開発し、デリバリー及びテイクアウト需要への対応を強化しております。

出退店につきましては、国内では14店舗を出店し50店舗を退店、海外では1店舗を出店し5店舗を退店した結果、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は、国内で653店舗、海外で11店舗の計664店舗（うちフランチャイズ店舗196店舗）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は69.0%となり、売上高は197億86百万円（前年同期比28.1%減）、営業損失は37億26百万円（前年同期営業利益8億34百万円）となりました。

(とんかつ事業)

「とんかつ事業」では、2020年10月より秋冬の季節商品「牡蠣ふらい」メニュー4種類を販売開始いたしました。また、同年11月より年末年始に向け、Web予約先行で「お一人さま重」などをエリア限定で販売いたしました。

出退店につきましては、17店舗を退店した結果、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は国内で92店舗（和食業態の長崎卓袱浜勝、とんかつ大學を含む）、海外で2店舗の計94店舗（うちフランチャイズ店舗18店舗）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は78.4%となり、売上高は55億68百万円（前年同期比26.5%減）、営業損失は5億75百万円（前年同期営業利益1億69百万円）となりました。

(設備メンテナンス事業)

設備メンテナンス事業は、当社グループ内における直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全などが主な事業内容であり、当第3四半期連結累計期間の売上高は14億26百万円（前年同期比14.8%減）、営業利益1億2百万円（同51.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ17億18百万円減少し319億98百万円となりました。これは主に繰延税金資産の取崩しによる固定資産の減少によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ58億3百万円増加し210億49百万円となりました。これは主に長期借入金の増加によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ75億22百万円減少し109億48百万円となりました。これは主に親会社に帰属する四半期純損失を73億23百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の連結業績予想につきましては、2020年10月14日に発表した前回予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,208,638	3,197,206
売掛金	1,148,959	1,093,791
商品及び製品	198,940	235,213
仕掛品	6,307	30,994
原材料及び貯蔵品	358,071	325,188
前払費用	391,407	355,527
未収入金	1,276,926	2,014,350
その他	188,819	274,268
貸倒引当金	—	△62,117
流動資産合計	5,778,070	7,464,423
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,202,421	10,708,894
機械装置及び運搬具(純額)	1,393,251	1,733,155
土地	6,450,108	5,903,173
リース資産(純額)	126,953	122,265
建設仮勘定	53,643	17,804
その他(純額)	993,294	824,084
有形固定資産合計	21,219,672	19,309,377
無形固定資産	473,716	442,266
投資その他の資産		
投資有価証券	511,233	513,761
繰延税金資産	1,389,242	91,601
退職給付に係る資産	96,349	99,526
差入保証金	1,104,439	1,038,450
建設協力金	76,680	68,866
敷金	2,726,311	2,658,896
その他	364,043	330,084
貸倒引当金	△22,605	△18,748
投資その他の資産合計	6,245,694	4,782,439
固定資産合計	27,939,082	24,534,084
資産合計	33,717,152	31,998,507

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	958,335	928,100
1年内償還予定の社債	316,000	316,000
短期借入金	700,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,530,834	2,898,178
リース債務	118,476	107,081
未払金	764,096	758,733
未払費用	1,677,594	1,468,102
未払法人税等	224,189	130,032
未払消費税等	460,524	641,751
株主優待引当金	100,274	87,493
店舗閉鎖損失引当金	6,666	84,008
販売促進引当金	4,468	—
資産除去債務	5,004	144,800
その他	619,577	567,398
流動負債合計	7,486,042	8,131,681
固定負債		
社債	598,000	282,000
長期借入金	3,464,591	9,092,128
長期未払金	542,649	544,258
リース債務	270,586	258,661
株式給付引当金	156,351	149,001
退職給付に係る負債	787,696	851,923
長期預り保証金	391,047	382,900
資産除去債務	1,324,662	1,139,634
その他	224,225	217,395
固定負債合計	7,759,809	12,917,903
負債合計	15,245,851	21,049,584
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,002,762	9,002,762
資本剰余金	7,020,017	7,020,017
利益剰余金	4,908,328	△2,540,833
自己株式	△2,749,756	△2,742,813
株主資本合計	18,181,352	10,739,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,508	82,556
為替換算調整勘定	46,088	17,849
退職給付に係る調整累計額	160,274	90,305
その他の包括利益累計額合計	270,870	190,711
非支配株主持分	19,078	19,078
純資産合計	18,471,301	10,948,922
負債純資産合計	33,717,152	31,998,507

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	34,231,260	24,724,556
売上原価	11,475,536	9,533,230
売上総利益	22,755,723	15,191,326
その他の営業収入	1,026,238	770,344
営業総利益	23,781,962	15,961,671
販売費及び一般管理費	22,580,399	20,197,661
営業利益又は営業損失(△)	1,201,562	△4,235,990
営業外収益		
受取利息	2,735	2,322
受取配当金	8,046	7,915
為替差益	15,251	—
未回収利用券受入益	—	11,839
違約金収入	—	25,000
受取補償金	6,814	—
その他	28,343	53,309
営業外収益合計	61,191	100,386
営業外費用		
支払利息	33,737	53,737
為替差損	—	14,197
リース解約損	3,932	39,946
持分法による投資損失	43,175	50,187
支払手数料	—	135,933
その他	22,767	16,026
営業外費用合計	103,612	310,028
経常利益又は経常損失(△)	1,159,141	△4,445,632
特別利益		
投資有価証券売却益	19,163	—
固定資産売却益	—	793,350
その他	—	2,829
特別利益合計	19,163	796,180
特別損失		
固定資産売却損	190	3,818
固定資産除却損	75,187	83,126
店舗閉鎖損失	7,576	79,280
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	165,300
減損損失	157,532	1,802,424
その他	—	3,125
特別損失合計	240,486	2,137,075
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	937,817	△5,786,527
法人税等	513,670	1,537,297
四半期純利益又は四半期純損失(△)	424,147	△7,323,825
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	424,147	△7,323,825

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	424,147	△7,323,825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56,580	18,048
為替換算調整勘定	△21,845	△28,202
退職給付に係る調整額	△73,919	△69,968
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,337	△36
その他の包括利益合計	△155,683	△80,159
四半期包括利益	268,463	△7,403,985
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	268,463	△7,403,985

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定的実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大は当社の事業活動にも大きな影響を及ぼしています。今後も当社の事業に影響が及ぶことが想定されますが、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期の見通しにつきましては2021年度中にかけて影響が続くと想定しております。

当社グループはこの仮定のもと、固定資産の減損会計の適用や繰延税金資産の回収可能性の判断など会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高(注) 3						
外部顧客への売上高	27,519,322	7,581,026	157,150	35,257,498	—	35,257,498
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,515,895	1,515,895	△1,515,895	—
計	27,519,322	7,581,026	1,673,045	36,773,394	△1,515,895	35,257,498
セグメント利益	834,462	169,124	210,997	1,214,585	△13,022	1,201,562

(注) 1. セグメント利益の調整額△13,022千円には、セグメント間取引消去21,009千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△34,031千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗及び閉鎖が決定した工場に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は149,076千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間中に閉鎖が決定した工場に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は8,455千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高(注) 3						
外部顧客への売上高	19,786,086	5,568,872	139,942	25,494,901	—	25,494,901
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,286,267	1,286,267	△1,286,267	—
計	19,786,086	5,568,872	1,426,209	26,781,168	△1,286,267	25,494,901
セグメント利益 又は損失(△)	△3,726,494	△575,389	102,350	△4,199,533	△36,457	△4,235,990

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△36,457千円には、セグメント間取引消去10,570千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△47,028千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスであり、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び当第3四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は1,486,618千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスであり、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び当第3四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は315,805千円であります。

3. 補足情報

フランチャイズ店舗の売上高を加味した総売上高

期別	項目	長崎ちゃんぼん事業			とんかつ事業			外販事業	その他	合計
		直営店	フランチャイズ店	合計	直営店	フランチャイズ店	合計			
2021年 2月期 第3四半期	売上高 (百万円)	16,210	5,622	21,833	5,104	1,111	6,216	1,266	209	29,525
連結累計 期間	店舗数 (店)	468	196	664	76	18	94	—	—	758
2020年 2月期 第3四半期	売上高 (百万円)	23,274	8,387	31,661	7,045	1,312	8,357	927	337	41,283
連結累計 期間	店舗数 (店)	504	203	707	93	18	111	—	—	818
対前年比率	売上高	69.7%	67.0%	69.0%	72.5%	84.7%	74.4%	136.7%	62.1%	71.5%
	店舗数	92.9%	96.6%	93.9%	81.7%	100.0%	84.7%	—	—	92.7%

(注) 当社グループはフランチャイズ事業を拡大しており、外部売上高の純粹比較ができるように、参考資料として掲示しております。

なお、連結損益計算書に記載されている売上高は、フランチャイズ店舗から受け取るロイヤリティー収入と材料等売上高を計上しているため、この表の数値とは一致いたしません。